

工賃番号

72

広島県事業所工賃向上計画（令和6年度～令和8年度）

作成年月日

2024/4/28

変更年月日

1 事業所基礎情報

事業所番号	3411100443		
法人名	社会福祉法人尾道さつき会	法人代表者名	平石 朗
事業所名	ワークスさつき	利用定員	34名
事業所住所	〒722-0212 尾道市美ノ郷町本郷字新本郷20001番142		

2 作成者情報

管理者（責任者）	田口 潤	担当者	小林 友美
電話番号	0848-48-5900	e-mail	works@satukikai.com

3 目標工賃の設定

月額

※令和6年度から月額のみを設定に変更されています。

4 目標工賃

(単位：円)

区分	令和5年度	令和5年度	差 額	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標額	実績額	実績-目標	目標額	目標額	目標額
月額	38,000	51,302	13,302	52,023	52,746	53,468

(注) 目標額は、国の指針（令和6年3月29日障発0329第42号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）に基づき、次の項目を勘案して設定すること。

- 各事業所の令和5年度の平均工賃実績
- 地域の実情を踏まえ、障害年金と合算して障害者が地域で自立した生活を実現するために必要な収入
- 地域の最低賃金や一般雇用されている障害者の賃金
- 各都道府県の目標工賃

5 収支計画（実績）

(単位：円)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績額	計画額	計画額	計画額	
収支計画（実績）	歳入	45,724,363	43,000,000	43,200,000	43,400,000
	年間売上額	45,724,363	43,000,000	43,200,000	43,400,000
	工賃変動積立金				
	設備等整備積立金				
	その他収入				
	歳出	45,724,363	43,000,000	43,200,000	43,400,000
	年間工賃支払総額	21,239,017	21,600,000	21,900,000	22,200,000
	運営経費	18,412,413	19,530,000	19,530,000	19,530,000
	工賃変動積立金	400,000	400,000	400,000	400,000
	設備等整備積立金	1,000,000	1,000,000	900,000	800,000
その他支出	4,672,933	470,000	470,000	470,000	
平均工賃の算出	延べ支払対象者数 (各月支払対象者の合計) ①	493			
	年間延べ利用者数②	8,824	8,800	8,800	8,800
	延労働時間③（参考）	46,889	46,000	46,000	46,000
	開所日数④	256	255	255	255
	開所月数⑤	12	12	12	12
	年間工賃支払総額【再掲】⑥	21,239,017	21,600,000	21,900,000	22,200,000
	平均工賃月額（旧算定方式）※ (⑥÷(②÷④)÷⑤)	43,081			
平均工賃月額（新算定方式）※ (⑥÷(②÷④)÷⑤)	51,302	52,023	52,746	53,468	
平均工賃時間額（参考） (⑥÷③)	453	470	476	483	

※令和5年度の平均工賃月額は、旧算定方式（参考値）と新算定方式それぞれで算出すること。

※令和6年度からの平均工賃月額は、新算定方式で算出すること。

6 就労（生産）活動の内容

(1) 就労（生産）活動の分野

ア 現在行っている就労（生産）活動（令和5年度実績）（複数選択可）

① 菓子製造・販売		⑪ リサイクル事業（空き缶・ペットボトル・プラ等）	
② パンの製造・販売		⑫ 郵便物等の発送（封入・仕分け・発送）	
③ 弁当・惣菜の製造・販売		⑬ 軽作業（部品組立・検品・袋詰・シール貼り等）	
④ その他の食品の製造・販売		⑭ 農作業請負（農作業施設外就労）	
⑤ 農産物の製造・販売		⑮ その他施設外就労	○
⑥ 雑貨製造・販売		⑯ PC関係（データ入力・WEB・デザイン等）	
⑦ レストラン・飲食店		⑰ その他（下記に具体的に記載） レンタルされる福祉用具の消毒作業	○
⑧ 印刷			
⑨ 清掃・洗浄・洗車			
⑩ クリーニング			

※令和5年度に行っていた就労（生産）活動に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

イ 上記のうち、売上の上位3位の状況（令和5年度実績）

順位	分野	売上額（円）	活動内容（製品、請負作業等の具体的内容）	施設外就労
1	⑰その他	42,348,313	・レンタルされる福祉用具の消毒作業	—
2	⑮その他施設外就労	2,919,600	・蓄冷材の箱詰め作業 ・商品の袋詰め作業	○
3	⑰その他	456,450	・リサイクルされるチラシの機械投入作業	—

(2) 施設外就労の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無	有

(3) 在宅就労の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無※1	無
在宅利用者の割合※2	

※1 運営規程に在宅で実施する訓練及び支援内容を規定している場合は「有」とすること。

※2 在宅利用者の割合は、毎年度3月の実利用者数に占める常時（利用日数のうち概ね6割程度以上）在宅で実施する訓練及び支援を受けている実利用者数の割合を記入してください。

（例：3月の利用者15名のうち1名が在宅利用者の場合：1名÷15名=6.7%）

(4) 農福連携の実施状況

区分	令和5年度
	実績
実施の有無	無
開始年度	—
農福連携の収入（売上）額（円）	
全体売上に占める割合	0.0%

（注）令和5年度の実施の有無を記載すること。

※1 開始年度は実施「有」の場合に記載（例：令和2年度から実施している場合は「令和2年度」、令和5年度から実施している場合は、「令和5年度」、実施していない場合は「—」とすること。

※2 農福連携の収入（売上）額は、実施の有無が「有」の場合は、令和5年度の実績額を記載すること。

7 就労（生産）活動の現状、課題、具体的な取組方策

(1) 現状及び工賃向上での課題（令和5年度の状況）

ア 現状及び工賃向上での課題（総括）

【就労（生産）活動における現状と課題について、具体的に記載してください。】

・消毒作業では、時期によって入荷量や入荷する商品にバラつきがある。利用者によっては作業が複雑で対応できない商品もあるため、入荷量や商品を安定的に確保する必要がある。
 ・取引先からの求められる品質が高くなっており、職員、利用者の消毒やメンテナンス技術の向上が必要である。
 ・新しい商品が次々と出ており、取引先と連携してメーカーを招いての講習会を何度か開催している。今後、講習会を計画的に実施し、職員のメンテナンス作業の技術の向上を図り、利用者の育成に繋げることで生産性の向上を目指す必要がある。

イ 工賃向上のために解決すべき課題事項（複数選択可）

① 魅力的な商品の開発ができない		⑥ 生産性が低下した利用者が増えている	<input type="radio"/>
② 販売（受注）先が限定されている（新規開拓ができない）		⑦ 作業に入れない利用者が増えている	<input type="radio"/>
③ 商品を作っても売れない		⑧ 職員の作業負担が増えている	
④ 販売（受注）単価が低い		⑨ 職員のスキルが十分ではない	<input type="radio"/>
⑤ 単独受注が難しい（他事業所との繋がりが弱い）		⑩ 企業との連携ができていない	
⑪ その他（取引先から求められる品質が高くなっている。）			<input type="radio"/>

※工賃向上のために解決すべき課題事項に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

(2) 令和5年度の工賃向上の取組の点検・評価

【令和5年度の目標工賃の達成状況の点検及び評価について、具体的に記載してください。】

・福祉用具の消毒作業では、一時的に他県からの受注があり、昨年よりも収入増に繋がった。
 ・施設外就労では、月～木曜日に実施していたが、同一企業内の他部署での施設外就労も可能となり、月～金曜日まで実施できたため、収入増に繋がった。

(3) 令和6年度以降、計画している改善策

※(2)の点検・評価結果を踏まえて記載

ア 工賃向上のために計画している改善策（複数選択可）

① 商品企画力の向上		⑥ 作業工程の見直し	<input type="radio"/>
② 販路開拓		⑦ 利用者のためのICT機器の導入	
③ 販売力の向上		⑧ 職員の負担軽減のためのICT機器等の導入	
④ 販売価格の見直し		⑨ 管理者・職員への意識啓発	<input type="radio"/>
⑤ 他事業所とのネットワークの構築		⑩ 市町・企業、他事業所との連携	
⑪ その他（取引先と入荷量及びに入荷する商品の安定した確保に向けた協議）			<input type="radio"/>

※上記の取組点検・評価の結果、工賃向上のために取り組む事項を「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

イ 改善に取り組む就労（生産）活動と取組内容（重要な取組3つまで）

1	活動内容	レンタルされる福祉用具の消毒作業
	改善策	⑥作業工程の見直し
	改善に向けた取組内容	商品化するまでに、時間がかかる臭いの除去や汚れ落としの方法を手法を模索し、効率化に繋げる。また、手作業と機械に頼る工程など、機械化も検討する。
2	活動内容	レンタルされる福祉用具の消毒作業
	改善策	⑨管理者・職員への意識啓発
	改善に向けた取組内容	品質と生産性への意識付けを行う。また、新商品のメンテナンス対応のため、メーカーを招いての講習会を随時開催し、メンテナンス技術の向上を図る。
3	活動内容	レンタルされる福祉用具の消毒作業
	改善策	⑪その他
	改善に向けた取組内容	入荷量の増加に備えて、商品保管庫の整備を検討し、実現に向けて計画を作成する。

※改善に取り組む活動と改善の具体的内容について、重要と考えるものを3つまで記載してください。

(4) 各年度に取り組む具体的な方策

ア 令和6年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和6年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、メンテナンス作業の技術を学習する機会を通して売上を維持、向上する。 ・作業量の確保のため、取引先との協議を定期的に行う。 ・施設外就労の単価の値上げ交渉を行う。

イ 令和7年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和7年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、メンテナンス作業の技術講習会及び民間企業との連携を図り、売上を維持、向上する。 ・取引先他県の営業所から作業を確保する。（現在、協議中） ・入荷する作業量の増加に対応するため、商品保管庫の整備を具体化させる。

ウ 令和8年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和8年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、メンテナンス作業の技術講習会及び民間企業との連携を図り、売上を維持、向上する。 ・他県からの入荷に合わせて、対応できる体制整備（作業の流れや保管庫の活用）を作る。

(5) 事業所の理念・運営方針の共有

事業所の理念・運営方針について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有した
--	------

(6) 工賃向上計画の共有

工賃向上計画（PDCAサイクルの確立）について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有していない
--	---------

(7) 工賃向上計画の推進体制（責任者及び主な職員10人まで）

	役割	氏名	役職・職種
責任者及び運営体制	1 統括責任者	田口 潤	管理者・サービス管理責任者
	2 個別支援計画の作成	田口 潤	管理者・サービス管理責任者
	3 価格交渉・営業	田口 潤	管理者・サービス管理責任者
	4 作業工程・品質管理	三吉福乃	主任 生活支援員
	5 日常生活の相談・指導、技術指導・職業訓練	橋本雄太	生活支援員
	6 日常生活の相談・指導、技術指導・職業訓練	渡邊竜児	生活支援員
	7 日常生活の相談・指導、技術指導・職業訓練	山岡矢宜	生活支援員
	8 技術指導・職業訓練	永井尚美	職業指導員
	9 技術指導・職業訓練	末宗孝彦	職業指導員
	10 収入計画・工賃向上計画の作成・管理	小林友美	目標工賃達成指導員

※令和6年4月1日時点の体制を記載してください。

8 利用者の状況 ※年度中に事業所を利用した実人数としてください。

(1) 利用者の障害区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
身 体 障 害	5
知 的 障 害	29
精 神 障 害	8
発 達 障 害	2
そ の 他	2
合 計	46

(2) 利用者の生活状況 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
独 居	7
家 族 と 同 居	34
施 設 入 所 等	5
合 計	46

(3) 利用者の支援区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
区 分 1	0
区 分 2	5
区 分 3	7
区 分 4	5
区 分 5	1
区 分 6	0
非 該 当	28
合 計	46

(4) 利用者の年齢構成 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
18 歳 未 満	0
18 歳 ～ 24 歳	4
25 歳 ～ 34 歳	8
35 歳 ～ 44 歳	12
45 歳 ～ 54 歳	9
55 歳 ～ 64 歳	12
65 歳 以 上	1
合 計	46

9 利用者の就労（生産）活動への満足度

利用者が事業所での就労（生産）活動にやりがいを感じているか（利用者アンケート）

(単位：人)

項 目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
① 就労(生産)活動を続けることで出来ることが増えた	29	3	8	40
② 利用者同士の交流など、仲間との関わりが楽しい	23	8	9	40
③ 困ったときに支援を受けることができ、安心して就労(生産)活動ができています	32	2	6	40
④ 希望に合わせた就労(生産)活動ができるように対応してもらえる	33	1	6	40
⑤ 就労(生産)活動での個別支援計画の目標達成に向けて取り組むことができています	29	3	8	40
⑥ 就労(生産)活動を通じて工賃を貰えることで、やりがいを感じている	33	1	6	40

※令和6年4月1日時点の利用者について、上記項目をアンケートした結果を記載してください。

(注) 各項目の合計人数は一致させるようにしてください。

<事業所工賃向上計画の変更理由>

次の理由から、事業所工賃向上計画を変更します。

※各年度、変更後の計画を県に提出する際に記入してください。

変更計画提出日	変更箇所	変更理由